



# 2018年度 環境活動レポート

(2018年4月～2019年3月)



『自然とコンクリートカラーポール』

Ⓚ 九州高圧コンクリート工業株式会社  
～ありがとうと言われる会社になろう～



# 目次

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| <b>1. 会社概要</b>                | 1  |
| <b>2. 経営理念</b>                | 3  |
| <b>3. 環境方針</b>                | 3  |
| <b>4. 環境活動推進体制</b>            | 4  |
| <b>5. 中長期目標</b>               |    |
| (1)3ヶ年の中長期目標(2018年度～2020年度)   | 5  |
| (2)二酸化炭素排出量の推移                | 5  |
| <b>6. 2018年度環境活動実績</b>        |    |
| (1)実施内容                       | 6  |
| (2)取組み成果並びに次年度方策              | 7  |
| (参考)特定事業者としての取組み              |    |
| 〔省エネ法に基づくエネルギー使用量(実績)〕        | 9  |
| (3)環境活動コスト(実績)                | 9  |
| (4)主な環境への負荷の結果                | 10 |
| (5)地域貢献活動                     | 11 |
| <b>7. 2018年度主な環境関連法規の遵守状況</b> | 12 |
| <b>8. 産業廃棄物処理業に関する情報</b>      | 13 |
| <b>9. 2019年度環境活動目標</b>        | 14 |
| <b>10. 代表者による全体評価と見直し</b>     | 15 |

# 1. 会社概要

## 基本情報

- 事業者名 九州高圧コンクリート工業株式会社    ■代表者 掛林 誠
- 資本金 2億4千万円    ■設立年月日 1957年11月5日

## 事業内容

- コンクリートポール及びコンクリートパイル、その他コンクリート製品の生産並びに販売
- 土木建築工事の設計・施工並びに監督
- 産業廃棄物のリサイクル及び処理業
- 既設コンクリート構造物調査・診断事業

## 事業所

- 本社 福岡市南区向野1丁目13番14号
- 熊本工場 菊池市旭志川辺1349番地の4
- 豊前工場 豊前市大字八屋2544番地の61
- 鹿児島営業所 鹿児島市南林寺町26番4号

## 事業の規模

- 売上高 83.4 億円
- 生産量 70,853 トン
- 工事件数 604 件
- 産業廃棄物処理量 16,858 トン

## 許可内容

- 建設業 土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、塗装工事業
- 産業廃棄物処理業 中間処理(破碎): ガラスくず等(自動車等破碎物を除く。)、がれき類

## 沿革

|          |                       |          |                              |
|----------|-----------------------|----------|------------------------------|
| 1957年11月 | 設立                    | 2007年 7月 | 新 JIS マーク取得(熊本)              |
| 1958年 9月 | 九州電力(株)にポール納入開始       | 2007年11月 | 創立50周年                       |
| 1958年10月 | 豊前工場竣工                | 2010年 9月 | エネルギー使用の合理化に関する法律に基づき特定事業者指定 |
| 1964年 4月 | PCパイル製造開始             | 2011年11月 | エコアクション21認証取得                |
| 1970年 4月 | JR、NTTにポール納入開始        | 2012年 9月 | 再生骨材製造プラント設置(熊本)             |
| 1971年 7月 | 鹿児島営業所を設置             | 2012年11月 | 再生骨材使用ポール生産開始(熊本)            |
| 1977年 4月 | 電線類地中化製品製造開始(豊前)      | 2013年11月 | 環境活動レポート大賞・九州廃棄物部門賞受賞        |
| 1981年 9月 | 熊本工場竣工                | 2014年 7月 | ポール生産を熊本工場に集約                |
| 1998年 2月 | 廃品コンクリートポールのリサイクル事業開始 | 2014年11月 | 環境活動レポート大賞・九州九州地方環境事務所長特別賞受賞 |
| 2001年 1月 | ISO9001 品質システム認証取得    | 2017年11月 | 創立60周年                       |
| 2007年 5月 | 新 JIS マーク取得(豊前)       | 2017年11月 | 環境活動レポート大賞・九州エネルギー部門賞受賞      |



熊本工場

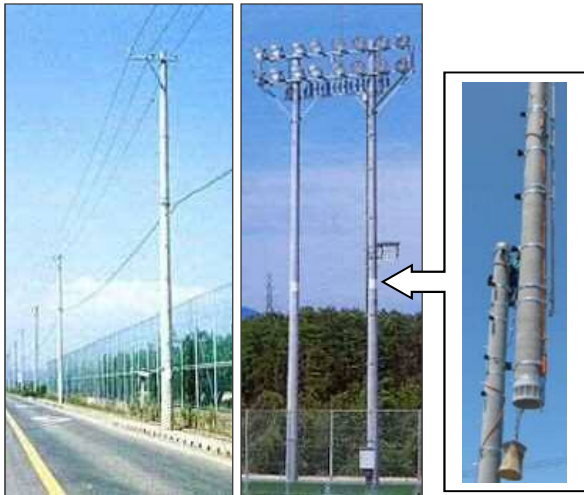


豊前工場

# 主な事業

## ■ポール事業

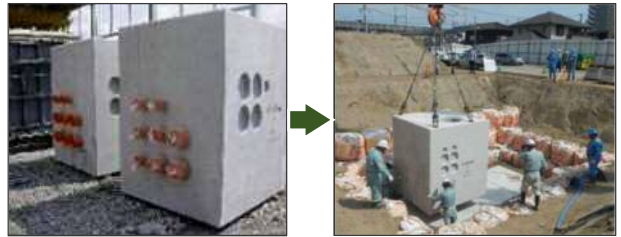
(製造、販売、設計、施工、劣化診断・補修工事等)



コンクリートポール  
カラーポール  
(九州電力用、NTT用、電車用)  
分割式継コンクリートポール  
(照明用、防球ネット用、アンテナ用)

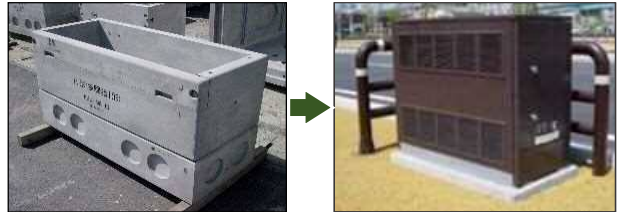
## ■地中線事業

(製造、販売、設計、施工、設備の点検・清掃等)



[マンホール]

[マンホール設置工事]



[ハンドホール(機器用)]

## ■パイル事業

(製造、販売、設計、施工等)



[杭打ち工事]

## ■産業廃棄物処理事業

(産業廃棄物のリサイクル及び処理)



[廃品ポールの破碎処理]

[再生砕砂、再生砕石]

○収集した産業廃棄物(廃品ポール)のリサイクル促進

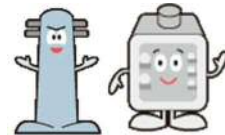
### ◇循環型社会への貢献(資源循環)

#### ○環境衛生資材(床カラッと)



- 産業廃棄物として処理していたコンクリートスラッジの有効活用
- 炭酸化処理過程での二酸化炭素排出量の削減や牛舎の環境改善に大きく貢献可能

#### ○リサイクル製品



[丸電向けポール  
丸電向けマンホール]

[ポール付属品]

- 自社製品に再生骨材を一部使用

#### ○売却



[鉄筋]

[路盤材  
(再生砕砂、再生砕石)]

## 2. 経営理念

### 経営理念

「ありがとうと言われる会社になろう」

### 社 是

- ・事業を通じて、社会に貢献します
- ・事業の安定した成長と健全な発展に努めます
- ・従業員の生活の安定と向上を図ります

### 行動規範

私達は・・・自分の仕事に対して強い責任を持ち、誠実で誰からも信頼されるよう行動します。

- ・品質、価格、納期面で競争力を確保し続けるとともに、お客さまに喜ばれる製品・サービスを創造し提供します。
- ・コミュニケーション豊かな企業風土を醸成し、働き甲斐を感じハラスメントの無い明るく楽しい職場を創ります。
- ・何事にも前向きに取組み、失敗を恐れず果敢に挑戦します。
- ・慣例にとらわれず常に柔軟に考え、知恵を出し合います。
- ・常にお互いの人格や価値観、立場を尊重し、真剣に向き合います。
- ・ルール・規則、作業手順を遵守し、安全第一を徹底します。
- ・公平で公正、かつ透明性の高い企業活動を通じ、法令遵守に努めます。
- ・企業活動を通じて社会の健全な発展に寄与し、信頼される存在であり続けます。
- ・環境保全の重要性を認識し、事業活動に伴う環境負荷の低減に取組み、環境に優しい企業を目指します。

## 3. 環境方針

### 環境理念

九州高圧コンクリート工業株式会社はコンクリート製品の生産・販売を中核とする全ての事業活動が地球環境に影響を与えていることを自覚し、地域環境との調和を目指して事業活動に伴う環境負荷の低減に取組みます。

### 基本指針

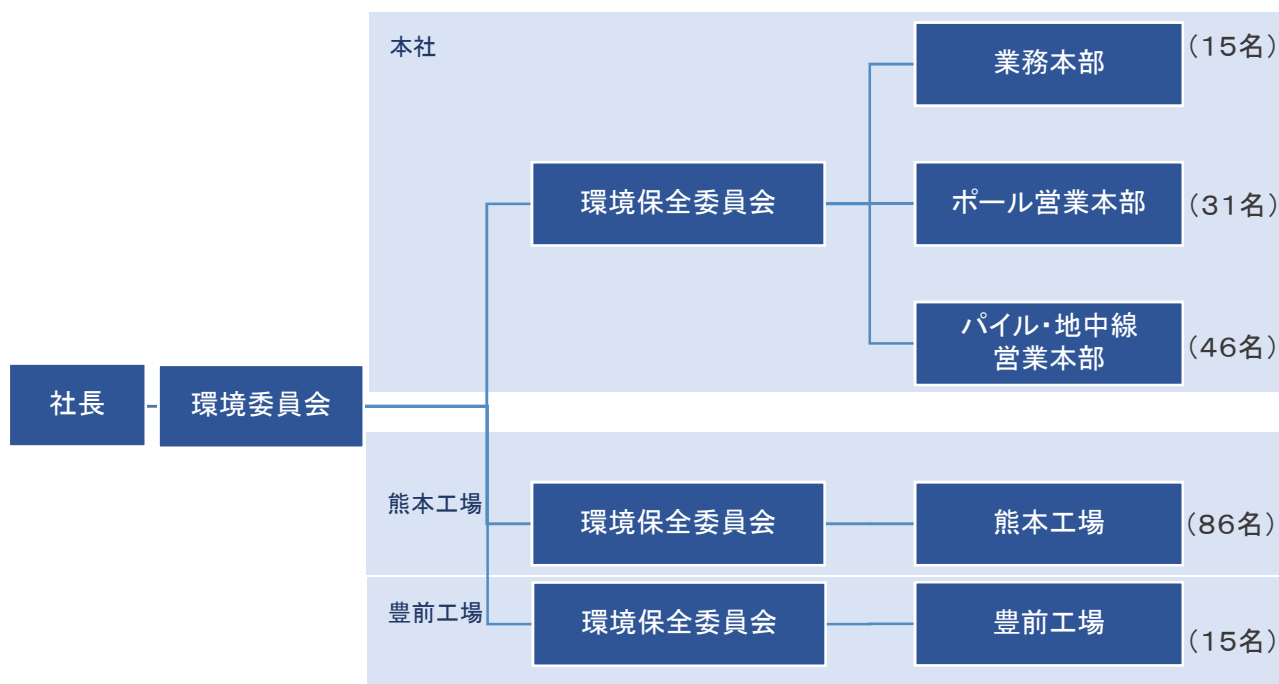
1. 環境活動として、次の重要テーマに取組みます。
  - (1)温室効果ガス排出量の削減
  - (2)廃棄物量の削減・リサイクルの推進
  - (3)水使用量の削減
  - (4)化学物質使用量の削減
  - (5)グリーン調達推進
2. 環境関連法規等を遵守します。
3. 環境目標及び環境活動計画を策定し、継続的に改善を行います。
4. 環境方針を全社員に周知し、社員一丸となった環境活動を推進します。
5. 環境活動レポートを作成、公表し、社会とのコミュニケーションを図ります。

制定 2010 年 12 月 6 日 改定 2014 年 6 月 20 日  
九州高圧コンクリート工業株式会社 代表取締役社長 掛林 誠

## 4. 環境活動推進体制

[2019年7月]

従業員数:194名



(鹿児島営業所はパイル・地中線営業本部に含む)

### 委員会の構成

|     | 環境委員会<br>(全社)                       | 環境保全委員会           |                   |                   |
|-----|-------------------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
|     |                                     | (本社)              | (熊本工場)            | (豊前工場)            |
| 委員長 | 業務本部長[環境管理責任者]                      | 業務本部長             | 工場長               | 工場長               |
| 委員  | 環境保全委員長<br>エネルギー管理員<br>エネルギー管理企画推進者 | 関係管理職<br>エネルギー管理員 | 関係管理職<br>エネルギー管理員 | 関係管理職<br>エネルギー管理員 |
| 事務局 | 業務本部総務G                             | 総務G               | 生産G               | 生産・検査G            |

### 主な役割

| 組 織     |   | 責 任 者   |                          |
|---------|---|---------|--------------------------|
| 環境委員会   | 環境活動マニュアル策定<br>環境方針・計画及び目標の策定<br>公害防止に関する対応事項策定<br>省エネ法対応 等 | 環境管理責任者 | 全社における環境活動の<br>構築・運用責任者  |
| 環境保全委員会 | 環境計画及び目標の啓蒙・実施<br>環境活動の確認・評価<br>公害防止対応<br>緊急事態への対応 等        | 環境保全委員長 | 事業所における環境活動の<br>構築・運用責任者 |
| 事務局     | 環境への負荷<br>取組みの取りまとめ<br>環境関連法規の確認・情報収集<br>環境活動レポートの作成 等      | —       |                          |

## 5. 中長期目標

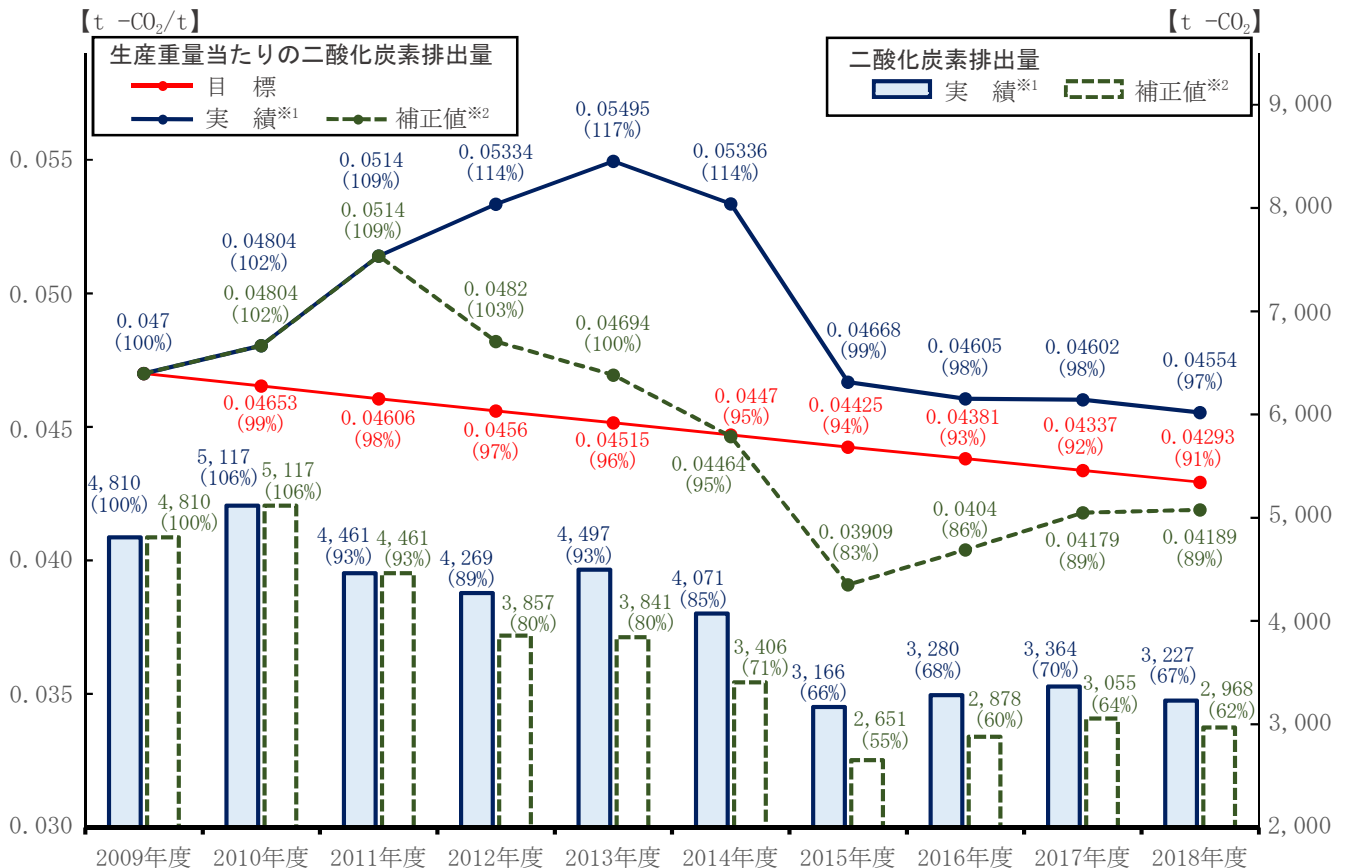
### (1) 3ヶ年の中長期目標 (2018年度～2020年度)

- ・二酸化炭素排出量、水使用量⇒前年度目標値1%削減
- ・産業廃棄物リサイクル率⇒基準年の実績を目標に設定し継続取組み
- ・事務用品グリーン調達率⇒前年度目標継続取組み

| 項目              |                          | 基準年     | 実績      | 目標      |         |         |
|-----------------|--------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
|                 |                          | 2009年度  | 2017年度  | 2018年度* | 2019年度  | 2020年度  |
| 二酸化炭素排出量        | 目標【t-CO <sub>2</sub> /t】 |         | 0.04337 | 0.04293 | 0.04250 | 0.04208 |
|                 | 実績【t-CO <sub>2</sub> /t】 | 0.04700 | 0.04602 | 0.04554 |         |         |
| 産業廃棄物<br>リサイクル率 | 目標【%】                    |         | 96      | 96      | 96      | 96      |
|                 | 実績(製造業)【%】               | 96      | 98      | 100     |         |         |
|                 | 実績(建設業)【%】               |         | 100     | 100     |         |         |
| 水使用量            | 目標【m <sup>3</sup> /t】    |         | 0.78    | 0.77    | 0.76    | 0.75    |
|                 | 実績【m <sup>3</sup> /t】    | 0.84    | 0.50    | 0.46    |         |         |
| 事務用品<br>グリーン調達率 | 目標【%】                    |         | 86      | 86      | 86      | 86      |
|                 | 実績【%】                    | 63      | 92      | 92      |         |         |

- tは生産重量を示す
- ※は、2018年度実績を示す

### (2) 二酸化炭素排出量の推移 (2009年度を基準年とする)



- ※1は、EA21がトライン 2017 に従い九州電力の各年度の調整後排出係数を使用
- ※2は、九州電力の2008年度調整後排出係数(0.348 kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を使用
- ( )は対基準年度比を示す

[参考]

| 年度                               | 2009           | 2010           | 2011         | 2012         | 2013         | 2014         | 2015         | 2016         | 2017         | 2018         |
|----------------------------------|----------------|----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 生産重量【t】                          | 102,343 (100%) | 106,514 (104%) | 86,795 (85%) | 80,027 (78%) | 81,833 (80%) | 76,296 (75%) | 67,823 (66%) | 71,232 (70%) | 73,097 (71%) | 70,853 (69%) |
| 調整後排出係数【kg-CO <sub>2</sub> /kWh】 | 実績             | 0.348          | 0.348        | 0.348        | 0.503        | 0.599        | 0.617        | 0.598        | 0.528        | 0.483        |
|                                  | 補正值            | -              | 0.348        | 0.348        | 0.348        | 0.348        | 0.348        | 0.348        | 0.348        | 0.348        |

## 6. 2018年度環境活動実績

### (1) 実施内容

| 項 目          |   | 実施内容  |   |
|--------------|---|-------|---|
| 地球環境問題への取組み  | 事業所における省エネ・省資源活動の推進        | 5～10月 | ・夏季節電期間クールビズ実施  |
|              |   | 12～3月 | ・冬季節電期間ウォームビズ実施   |
|              |   | 4～3月  | ・外出時等のPC電源 off<br>・未使用エリア、休憩時間の消灯   |
|              | 運輸面でのCO <sub>2</sub> 削減推進  | 4～3月  | ・車両計画に基づき低公害車へ切替実施<br>・エコドライブ10すすめの確実な実施  |
| 循環型社会形成への取組み | 廃棄物のゼロエミッション活動の継続的な展開      | 4～3月  | ・製造過程で発生した産業廃棄物の分別<br>・受託した産業廃棄物（廃品コンクリートポール）の管理・適正な処理<br>・回収BOXへの古紙回収<br>・ペーパーレス化の推進等による資源の有効活用                                  |
|              |   |       | グリーン調達<br>の推進                                  |
| 地域環境の保全      | 化学物質等の適切な管理・処理及び代替化の取組み   | 4～3月  | ・化学物質排出把握管理促進法に基づいた化学物質使用量の的確な把握  |
|              |   | 4、6月  | ・取扱量1トンの超の物質を届出   |
| 社会との協調       | 環境情報の公開                  | 6～8月  | ・環境活動レポート作成   |
|              |   | 4～3月  | ・ホームページで公開(産業廃棄物処理施設の維持管理の状況に関する情報)   |
|              | 地域に密着した環境活動の推進           | 4～3月  | ◇本社<br>・本社周辺の清掃活動(毎週)<br>・違反広告物撤去に伴う清掃活動(2回/年)  |
|              |   |       | ◇熊本工場<br>・工場周辺の草刈り及び清掃活動(4回/年)<br>・地域清掃ボランティアへの参加(1回/年)   |
| 環境管理の推進      | 環境マネジメントシステムの自立的運用  | 4～3月  | ・環境委員会実施(2回/年)<br>・環境保全委員会実施(本社2回/年、工場4回/年)  |
|              |   |       | 環境教育の実施及び環境情報の共有化   |



## (2) 取組み成果並びに次年度方策

### ①取組み成果と次年度方策

| 項目                    | 主な取組み   | 目標                            | 実績                         | 達成度<br>% | 参考                   |                       | 評価 | 次年度方策   |   |
|-----------------------|---|-------------------------------|----------------------------|----------|----------------------|-----------------------|----|---|---|
|                       |   |                               |                            |          | 基準年度比<br>(基準年度)<br>% | 前年度比<br>(2017年度)<br>% |    |   |   |
| <b>【製造業】</b>          |   |                               |                            |          |                      |                       |    |   |   |
| オフィス電力<br>使用量削減       | ・クールビズ・ウォームビズの取組み<br>・空調機器の適正温度管理<br>・使用していないエリアの電源 OFF | 7.66<br>kWh/m <sup>2</sup> 以下 | 7.83<br>kWh/m <sup>2</sup> | 97.8     | 83.7<br>(2009)       | 97.7                  | ×  | ・酷暑と厳冬の影響により、7～9月、12～1月の単月電力使用量が増加し、目標未達。クールビズ・ウォームビズの取組みや不要照明の消灯等は定着しており、節電の意識は徹底されている | ・夏季・冬季における節電への取組みを継続  |
| 工場等の電力<br>使用量削減       | ・エア配管ルート見直し<br>・製造設備運転の適正管理<br>・クレーン等照明機器のLED化          | 30.0<br>kWh/t 以下              | 30.4<br>kWh/t              | 98.8     | 93.7<br>(2009)       | 101.1                 | ×  | ・夏季のレンタル空調機器の使用や、特殊柱受注増に伴う第三工場の休日生産により電力使用量が増加し、目標未達                                    | ・高効率空気圧縮機への更新(2台)<br>・製造設備運転適正管理の周知徹底を継続  |
| 低公害車の導入               | ・車両計画に基づき、低公害車導入  | 71.0<br>%以上                   | 88.9<br>%                  | 125.2    | 125.2<br>(2009)      | 100.0                 | ○  | ・計画的な切替(7台)により、目標達成<br>内訳:ハイブリッド車4台⇒5台、低燃費・低排出ガス車3台⇒2台                                  | ・車両計画に基づき、計画的な切替を継続   |
| ガソリン<br>消費率向上         | ・エコドライブ10すすめの取組み<br>・乗り合せ声掛けの実施                         | 13.5<br>km/ℓ以上                | 15.5<br>km/ℓ               | 114.5    | 110.4<br>(2010)      | 103.4                 | ○  | ・エコドライブの取組みが定着しており、目標達成   | ・エコドライブ10すすめのビデオや、リーフレットを活用し、取組みを継続   |
| A重油<br>使用量削減          | ・オートクレーブ養生廃止への取組み<br>・蒸気配管・バルブ等の断熱強化等の熱ロス抑制対策           | 11.3<br>ℓ/t 以下                | 10.1<br>ℓ/t                | 110.5    | 84.4<br>(2009)       | 99.4                  | ○  | ・オートクレーブ養生を使用しない製品の開発が計画的に実施されている(対象8品種の内、2品種型式申請承認済み)<br>・エネルギーロス低減を意識した取組みが実施されている    | ・オートクレーブ養生廃止への取組みを継続<br>(2020年度までに全品種型式申請の承認を目指す)<br>・計画的に熱ロス抑制対策を継続            |
| 産業廃棄物<br>リサイクル率向上     | ・分別の徹底<br>・回収BOXへの保護具類回収<br>・環境衛生資材「床カラッと」販売            | 96.0<br>%以上                   | 96.6<br>%                  | 103.8    | 104.0<br>(2010)      | 102.0                 | ○  | ・日常の取組みが定着しており、目標達成<br>・コンクリートスラッジ委託処理費(2018年度実績:22.6百万)の低減として、発生抑制または路盤材化への取組みが必要      | ・リサイクルによる産業廃棄物削減への取組みを継続<br>・コンクリートスラッジ路盤材化への取組みを継続<br>・優良事業者を優先した産業廃棄物処理事業者の選定 |
| 古紙<br>リサイクル率100%      | ・分別の徹底<br>・回収BOXへの古紙回収                                  | 100.0<br>%                    | 100.0<br>%                 | 100.0    | 100.0<br>(2009)      | 100.0                 | ○  | ・日常の取組みが定着しており、目標達成   | ・分別の周知徹底を図り、維持管理の取組みを継続   |
| 用紙<br>使用量削減           | ・両面コピー、裏面使用の推進<br>・電子媒体活用によるペーパーレス化                     | 975<br>枚/人以下                  | 849<br>枚/人                 | 112.9    | 86.4<br>(2010)       | 108.5                 | ○  | ・両面コピー、裏面利用、電子媒体の活用が促進され、目標達成   | ・電子媒体の活用、両面コピー・裏面利用による取組みを継続  |
| オフィス水<br>使用量削減        | ・節水コマの設置<br>・節水の推進及び子メーター管理                             | 0.54<br>m <sup>3</sup> /人以下   | 0.44<br>m <sup>3</sup> /人  | 119.1    | 113.1<br>(2009)      | 101.2                 | ○  | ・節水の取組みや子メーター管理が定着しており、目標達成   | ・節水の推進、子メーター管理を図り、水使用量削減の取組みを継続   |
| 工場等の水<br>使用量削減        | ・工業用水リサイクルの取組み<br>・子メーター管理及び節水の推進                       | 0.76<br>m <sup>3</sup> /t 以下  | 0.46<br>m <sup>3</sup> /t  | 139.0    | 55.2<br>(2009)       | 93.5                  | ○  | ・工業用水のリサイクルや、ベルトコンベア洗浄水の循環化が実施され、目標達成   | ・水使用量削減として、オートクレーブ養生廃止に取組む<br>・環境保全設備の適切な運用                                     |
| 事務用品の<br>グリーン調達率向上    | ・事務用品購入実績の確実な把握<br>・グリーン調達率向上への取組み                      | 86.0<br>%以上                   | 91.9<br>%                  | 106.8    | 146.3<br>(2009)      | 99.5                  | ○  | ・グリーン調達の取組みが定着しており、目標達成   | ・事務用品購入実績の確実な把握及び、グリーン調達率向上への取組みを継続   |
| 機器簡易点検<br>実施率100%     | ・業務用空調機器の点検・記録整備<br>(四半期毎に点検実施)                         | 100.0<br>%                    | 100.0<br>%                 | 100.0    | 100.0<br>(2015)      | 100.0                 | ○  | ・四半期毎に点検を実施並びに記録を整備し、目標達成   | ・環境保全委員会及び内部監査等で、点検・記録の整備を確認  |
| <b>【建設業】</b>          |   |                               |                            |          |                      |                       |    |   |   |
| 産業廃棄物<br>リサイクル率向上     | ・分別の徹底  | 96.0<br>%以上                   | 100<br>%                   | 104.2    | 101.0<br>(2011)      | 100.0                 | ○  | ・日常の取組みが定着しており、目標達成   | ・分別を徹底し、全量リサイクルの取組みを継続<br>・優良事業者を優先した産業廃棄物処理事業者の選定                              |
| 建設資材の<br>グリーン調達率向上    | ・建設資材購入実績の確実な把握<br>・グリーン調達率向上への取組み                      | 86.0<br>%以上                   | 100.0<br>%                 | 116.3    | 101.0<br>(2013)      | 100.0                 | ○  | ・グリーン調達の取組みが定着しており、目標達成   | ・建設資材購入実績の確実な把握及び、グリーン調達率向上への取組みを継続   |
| <b>【産業廃棄物処理業】</b>     |   |                               |                            |          |                      |                       |    |   |   |
| 受託した産業廃棄物<br>リサイクル率向上 | ・分別の徹底<br>・再生骨材の利用促進                                    | 96.0<br>%以上                   | 100.0<br>%                 | 104.1    | 100.0<br>(2011)      | 100.0                 | ○  | ・日常の取組みが定着しており、目標達成<br>・ポール付属品、路盤材への活用による取組みが定着している                                     | ・分別を徹底し、全量リサイクルの取組みを継続<br>・優良事業者を優先した産業廃棄物処理事業者の選定                              |

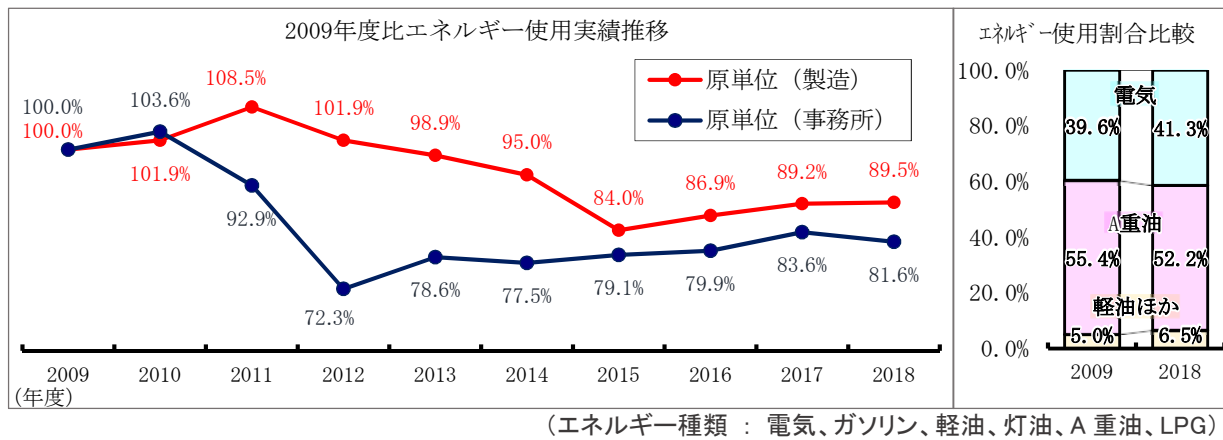
○ 化学物質及び製品・サービスに関する取組みは、環境計画の中で取組む

○ m<sup>2</sup>は床面積、tは生産重量、人は事務所人員数を示す

(参考) 特定事業者としての取組み

【省エネ法に基づくエネルギー使用量(実績)】

2010年省エネ法の特定事業者指定を契機に、エネルギー管理体制を構築し、設備毎の使用実態把握およびエネルギー管理規定や合理化計画を策定し取組んできました。

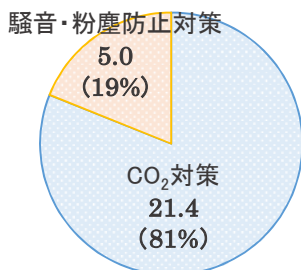


○ 省エネ法では、製造業のエネルギー使用量原単位を毎年1%削減することが求められています。基準年度(2009年度)から累計9%の削減目標に対し、実績では10.5%削減と目標を達成しています。

(3) 環境活動コスト(実績)

設備投資[百万円]

コスト合計[26.4百万円]

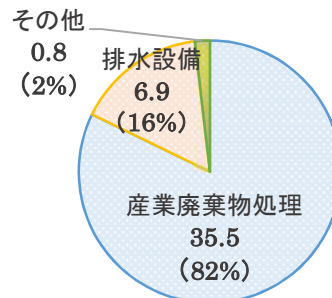


【設備投資の主な内容】

- ・CO<sub>2</sub>対策  
ベンチレーター改修工事など
- ・騒音・粉塵防止対策  
破碎処理場境界壁改修工事など

活動費用[百万円]

コスト合計[43.2百万円]



【活動費用の主な内容】

- ・産業廃棄物処理  
自社で発生した産業廃棄物処理費用など
- ・排水設備  
排水設備の維持管理費など
- ・その他  
ボイラー設備の維持管理費など

コスト削減効果【全社】

| 項目  | 前年度比  | 基準年度比 |
|-----|-------|-------|
| 電力  | ▲56万円 | 146万円 |
| A重油 | 27万円  | 817万円 |
| 水   | 67万円  | 773万円 |

※原単位換算で算出

2018年度の削減効果は前年度と比べ38万円増となりました。主な要因として以下のことが考えられます。

- 熊本工場において、7~9月のレンタル空調機器の使用と生産量減少(前年同期比▲3.0%)により、電力原単位が前年同期比+2.3%と悪化しました。  
基準年度比では、ポール生産の集約や小型貫流ボイラーの導入及び高効率照明器具への更新やコンプレッサーの改良などの取組みにより、エネルギー使用効率が向上し、1,736万円と大幅なコスト削減効果が得られています。

#### (4) 主な環境への負荷の結果（事業別）

[ ]内は 2017 年度実績

|       | 製造業  | 建設業   | 産業廃棄物処理業  |                             |
|-------|--|---|---|-----------------------------|
| 資源投入量 | エネルギー使用量   | エネルギー使用量  | エネルギー使用量  |                             |
|       | 電力<br>(万 kWh) 212 [216]  | ガソリン<br>(kℓ) 3 [4]  | 電力<br>(万 kWh) 3.5 [3.6]   |                             |
|       | A重油<br>(kℓ) 717 [774]  | 資材使用量   | 軽油<br>(kℓ) 62 [64]  |                             |
|       | 軽油<br>(kℓ) 25 [24]   | セメント<br>(トン) 8,314 [4,813]  | 水使用量<br>(千m³) 0.5 [0.3]   |                             |
|       | その他<br>(kℓ) 6 [6]  | 生コンクリート<br>(トン) 1,963 [26]  |  |                             |
|       | 水使用量<br>(千m³) 32 [36]  | 鋼材<br>(トン) 0.1 [17.0]   |   |                             |
|       | コピー用紙使用量<br>(万枚) 143 [131]   | 防錆塗料<br>(トン) 2.6 [1.7]  |   |                             |
|       | 化学物質取扱量  |   |   |                             |
|       | メチルナフタレン<br>(トン) 8.5 [9.0]   |   |   |                             |
|       | キシレン<br>(トン) 0.7 [0.5]   |   |   |                             |
| 事業活動  | 生産量  | 工事件数  | 受託した産業廃棄物の処理量   |                             |
|       |  コンクリートポール<br>(千トン) 68.6 [72.1] |  鉄塔基礎工事<br>(件) 302 [794] | 受入量<br>(トン) 16,858 [15,883]   |                             |
|       |  地中電線管路材<br>(千トン) 2.3 [2.5]     |   | 電力管路工事<br>(件) 141 [150]   | 破砕量<br>(トン) 16,858 [15,883] |
|       | 古紙リサイクル率<br>(%) 100 [100]  |   | 建築・土木<br>構造物基礎工事<br>(件) 80 [60]   | 再資源化量                       |
|       | 産業廃棄物<br>リサイクル率<br>(%) 99.6 [97.7]   | その他工事<br>(件) 81 [99]  | 路盤材、原材料<br>(トン) 15,698 [14,751]   |                             |
|       | 産業廃棄物<br>リサイクル率<br>(%) 100 [100]   | リサイクル業者に再委託<br>(トン) 20 [24]   |   |                             |
| 環境負荷量 | 二酸化炭素排出量<br>(トン-CO <sub>2</sub> ) 3,001 [3,080]  | 二酸化炭素排出量<br>(トン-CO <sub>2</sub> ) 8 [9]   | 二酸化炭素排出量<br>(トン-CO <sub>2</sub> ) 170 [182]   |                             |
|       | 産業廃棄物処分量<br>(トン) 22.1 [77.4]   | 産業廃棄物処分量<br>(トン) 0 [0.1]  | 最終処分量(委託)<br>(トン) 6.0 [0.3]   |                             |
|       | 化学物質排出量<br>(トン) 0.7 [0.6]  |   |   |                             |

## (5) 地域貢献活動

|   |  |
|---|--|
| <b>事業所:本社</b>   |  |
| 活動内容:違反広告物撤去に伴う清掃活動(2回/年)<br>事務所周辺の清掃活動(1回/週)※輪番制で全員参加                            |  |
| 事務所周辺の清掃  | 作業の様子  |
|  |  |

|   |  |
|---|--|
| <b>事業所:熊本工場</b>   |  |
| 活動内容:工場周辺の草刈り及び清掃活動(4回/年)<br>地域清掃ボランティアへの参加(1回/年)                                   |  |
| 工場前道路の清掃  | 回収したゴミ   |
|  |  |

|   |  |
|---|--|
| <b>事業所:豊前工場</b>   |  |
| 活動内容:工場周辺の清掃活動(1回/年)  |  |
| 工場周辺の清掃   | 回収したゴミ   |
|  |  |

## 7. 2018年度主な環境関連法規の遵守状況

環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果、当社事業に適用される環境関連法規への違反はありません。関係機関からの指定、訴訟等もありません。

|           | 主な法規制の名称   | チェックした内容  | 評価 |
|-----------|------------|---|----|
| 環境一般      | 工場立地法      | ・特定工場 ・生産施設<br>・緑地                                  | ○  |
|           | 公害防止管理者法   | ・公害防止統括者及び公害防止管理者の選任                                | ○  |
| 地球環境      | 地球温暖化対策推進法 | ・事業活動に伴う排出抑制<br>・排出量の報告                             | ○  |
|           | 省エネ法       | ・特定事業者の指定 ・エネルギー使用状況の届出<br>・エネルギー管理統括者の選任 ・中長期計画の作成 | ○  |
|           | フロン排出抑制法   | ・事業者の責務・保守点検<br>・大気中への放出禁止                          | ○  |
|           | オフロード法     | ・使用の制限  | ○  |
| 廃棄物・リサイクル | 廃棄物処理法     | ・事業者の責務 ・保管基準の遵守<br>・許可業者への委託 ・委託基準の遵守<br>・マニフェスト管理 | ○  |
|           | 建設リサイクル法   | ・再資源化等の遵守<br>・実施状況の記録 ・保存 ・報告                       | ○  |
|           | 自動車リサイクル法  | ・再資源化預託金等の預託義務                                      | ○  |
|           | 家電リサイクル法   | ・収集・再商品化に対する費用負担                                    | ○  |
|           | 小型家電リサイクル法 | ・分別排出、適切な引き渡し                                       | ○  |
| 大気・騒音・振動  | 大気汚染防止法    | ・ばい煙発生施設等の届出 ・公害防止管理者等の届出<br>・排出規制基準の遵守 ・測定 ・記録     | ○  |
|           | 騒音規制法      | ・特定施設の届出<br>・規制基準の遵守                                | ○  |
|           | 振動規制法      | ・特定施設の届出<br>・規制基準の遵守                                | ○  |
| 水質・土壌     | 水質汚濁防止法    | ・特定施設等の届出<br>・排水規制基準の遵守<br>・総量規制                    | ○  |
|           | 浄化槽法       | ・浄化槽設備の届出 ・未処理水の放流禁止<br>・水質基準 ・水質検査 ・保守点検           | ○  |
| 化学物質      | PRTR 法     | ・化学物質管理指針に基づく管理<br>・排出量、移動量の届出                      | ○  |
|           | 毒物・劇薬取締役法  | ・毒物又は劇物の取扱及び表示                                      | ○  |

## 8. 産業廃棄物処理業に関する情報

### (1) 産業廃棄物処理施設

| 項目         | 熊本工場  |                | 豊前工場          |
|------------|---|----------------|---------------|
| 事業施設の種類の種類 | 産業廃棄物埋立処分(管理型)  | がれき類の破砕施設      | がれき類の破砕施設     |
| 産業廃棄物の種類   | 汚泥  | がれき類           | がれき類          |
| 処理能力       | 埋立地:12,152 m <sup>2</sup><br>埋立容量:60,557 m <sup>3</sup> | 160.0トン/日(8時間) | 97.6トン/日(8時間) |
| 許可番号       | 第埋-014号   | 第中-226号        | 第457号         |
| 許可年月日      | 1994年9月9日   | 2012年5月10日     | 2010年1月22日    |

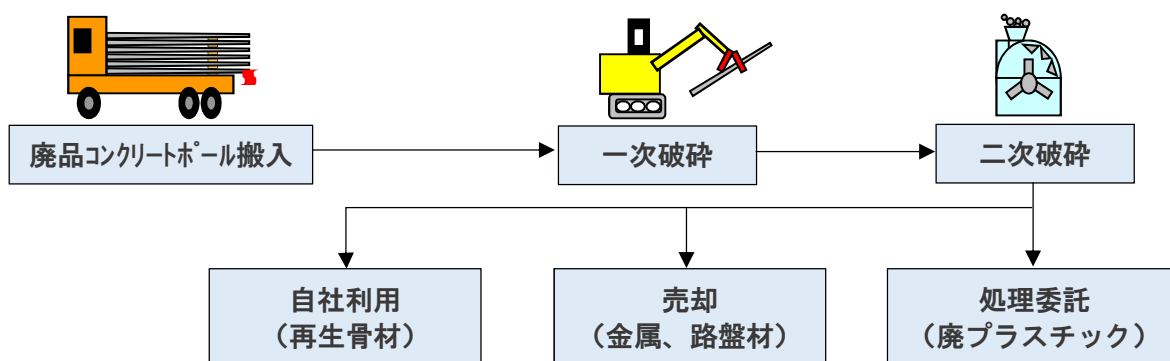
### (2) 広域認定制度

| 項目       | 内容                         |
|----------|----------------------------|
| 産業廃棄物の種類 | 当社製造のコンクリートポールが産業廃棄物となったもの |
| 処理区域     | 全国                         |
| 許可番号     | 第199号                      |
| 許可年月日    | 2010年12月8日                 |

### (3) 産業廃棄物処分量

| 項目       | 熊本工場        | 豊前工場            |
|----------|-------------|-----------------|
| 事業の範囲    | 中間処理(破砕)    | 中間処理(破砕)        |
| 産業廃棄物の種類 | ガラスくず、がれき類  | ガラスくず、がれき類      |
| 処理方式     | ジョークラッシャー方式 | 油圧スクリーンクラッシャー方式 |
| 許可番号     | 04325008997 | 04020008997     |
| 許可年月日    | 2018年9月26日  | 2017年2月20日      |
| 有効期限     | 2023年9月25日  | 2022年2月21日      |

### (4) 処理工程図



## 9. 2019年度環境活動目標

### ①環境活動目標

| 項目                    | 2019年度目標                  | 目標設定の考え方                 | (参考)<br>2018年度目標          |
|-----------------------|---------------------------|--------------------------|---------------------------|
| <b>【製造業】</b>          |                           |                          |                           |
| オフィス電力使用量削減           | 7.66kWh/m <sup>2</sup> 以下 | 継続目標として取組み               | 7.66kWh/m <sup>2</sup> 以下 |
| 工場等の電力使用量削減           | 30.0kWh/t 以下              | 継続目標として取組み               | 30.0kWh/t 以下              |
| 低公害車の導入               | 71.0%以上                   | 継続目標として取組み               | 71.0%以上                   |
| ガソリン消費率向上             | 13.5km/ℓ以上                | 継続目標として取組み               | 13.5km/ℓ以上                |
| A 重油使用量削減             | 11.1ℓ/t 以下                | 省エネ法対応で<br>前年目標▲1.66%    | 11.3ℓ/t 以下                |
| オートクレーブ養生廃止の構築        | 6/8 品種                    | 新規目標設定<br>※型式申請承認を目標値とする | -                         |
| 産業廃棄物リサイクル率向上         | 96.0%以上                   | 継続目標として取組み               | 96.0%以上                   |
| 古紙リサイクル率 100%         | 100.0%                    | 継続目標として取組み               | 100.0%                    |
| 用紙使用量削減               | 975 枚/人以下                 | 継続目標として取組み               | 975 枚/人以下                 |
| オフィス水使用量削減            | 0.54 m <sup>3</sup> /人以下  | 継続目標として取組み               | 0.54 m <sup>3</sup> /人以下  |
| 工場等の水使用量削減            | 0.75 m <sup>3</sup> /t 以下 | 中長期目標に従い<br>前年目標▲1%      | 0.76 m <sup>3</sup> /t 以下 |
| 事務用品のグリーン調達率向上        | 86.0%以上                   | 継続目標として取組み               | 86.0%以上                   |
| 環境関連法令の遵守徹底           | 法令遵守の徹底                   | 九電グループ目標で<br>取組み         | -                         |
| <b>【建設業】</b>          |                           |                          |                           |
| 産業廃棄物リサイクル率向上         | 96.0%以上                   | 継続目標として取組み               | 96.0%以上                   |
| 建設資材のグリーン調達率向上        | 86.0%以上                   | 継続目標として取組み               | 86.0%以上                   |
| <b>【産業廃棄物処理業】</b>     |                           |                          |                           |
| 受託した産業廃棄物<br>リサイクル率向上 | 96.0%以上                   | 継続目標として取組み               | 96.0%以上                   |

※m<sup>2</sup>は床面積、tは生産重量、人は事務所人員数を示す

### ②主な取組み及び新規内容

環境活動が定着し、各事業所で計画的かつ適切な取組みが行われており、良好な活動結果となりました。2019年度は主に以下の項目に取組みます。(下線部は新規箇所)

#### (i)地球環境問題

- ・A 重油・水の消費量抑制(オートクレーブ養生廃止への取組み)(熊本工場)
- ・高効率機器(コンプレッサー・空調機器・照明設備等)の計画的更新(熊本工場)
- ・夏季・冬季における節電への取組み

#### (ii)循環型社会形成

- ・優良事業者を優先した産業廃棄物処理事業者の選定
- ・コンクリートスラッジ有効活用(路盤材化)への取組み(熊本工場)

#### (iii)地域環境の保全

- ・環境保全設備の適切な運用  
(環境法規に関する測定の徹底[濃度・排出量・騒音・振動])

#### (iv)環境管理の推進

- ・九電グループ情報ネットワークを活用した法令改正状況の確認

## 10. 代表者による全体評価と見直し

当社は、2010年、省エネ法の特定事業者指定されたことを契機に、設備毎の使用実態の把握、エネルギー管理規程及び合理化計画の策定など、エネルギー管理体制と環境マネジメントシステムを構築しました。翌年、エコアクション21認定制度に加入し、環境活動を積極的に取り組んでまいりました。

今後も当社は、エコアクション21、九電グループ環境アクションプラン及び省エネ法の目的や趣旨を踏まえ、環境負荷の低減に向けた環境活動を実施することを通じて、地球環境との調和を目指してまいります。

### (1) 2018年度活動の総括

- ① 省エネ法のエネルギー使用量原単位では、基準年度(2009年度)から10.5%削減と目標を達成していますが、中長期目標の二酸化炭素排出量削減については、基準年度(2009年度)から累計9%の削減目標に対し、3%削減と目標未達となりました。
- ② 主な個別項目の取り組みでは、全社大で15項目のうち13項目について概ね目標を達成しました。オフィス電力使用量(達成度97.8%)と工場等の電力使用量(達成度98.8%)が未達となり、これは特殊品種の受注増に伴い生産量当たりの電力使用量が増加したこと、並びに猛暑と厳冬による作業環境上のため止むを得ないものでした。
- ③ 環境情報の公開や教育訓練、内部監査を計画的に実施しており、活動環境は定着しています。また、各事業所に応じた美化活動については、全従業員で実施しており、地域に密着した環境活動を継続しています。

### (2) 2019年度取り組み

作業環境改善や作業能率向上のためには、空調設備の導入・改善が必要であります。同時に電力使用量の増加が懸念されます。

このため、高効率空気圧縮機への更新やオートクレーブ養生を使用しない製品の拡大を推進し、省エネ法のエネルギー使用量原単位を削減していきます。

また、循環型社会の貢献として、産業廃棄物リサイクル率を高い水準で維持継続し、環境負荷の低減に努めてまいります。







本レポートについてのご意見・お問い合わせ先

---

九州高圧コンクリート工業株式会社

環境管理責任者 取締役常務執行役員 業務本部長 仲野 眞司

エネルギー管理企画推進者 業務本部総務グループ長 森下 志朗

環境管理担当者 業務本部総務グループ 吉本 誠一

TEL (092) 554-6650 FAX (092) 554-6702 <http://www.kyuatsu.co.jp/>

2019年8月1日発行